

“人財を活用して元気な集落再発見”

なかさんじ
中山路生活圏(田辺市)

現 況

【人 口】977人【集 落 数】3集落【高齢化率】38%
【世 帯 数】363世帯【高齢者一人暮らし世帯】102世帯
【施 設 等】柳瀬保育所(46名)、中山路小学校(41名)
龍神中学校(85名)、南部高校龍神分校(74名)
龍神市民センター、龍神ドーム、中山路郵便局
ガソリンスタンド(1軒)、龍神村民体育館

【主 産 業】農業(水稻、花卉、サトイモ)
耕作面積:35ha
耕作放棄地:5ha 販売農家:41戸
【鳥獣被害】サル、シカ、イノシシ
【特 産 品】木材(龍神材)
【地域行事】翔龍祭(11月)
【芸術・文化】チェーンソーアート・絵本作家など

【生活環境】

- ・龍神バス(田辺～高野山、10便/日)
- ・住民バス(龍神～日高川、4便/日)
- ・移動販売(3業者、週3回、肉、魚、食料品中心)
- ・商店(食料品、生活資材、薬など)
- ・飲食店(3店舗)
- ・歯科医院(平日、土曜日午前中)

課 題

来訪者の滞在を促す施策がなく、地域が単なる通過点となっている

- ・芸術家など地域資源を活かした取組みができていない
- ・観光・イベント等の来訪者に地域産品を販売する仕組みができていない

課 題

高齢化や耕作意欲の減退による地域力低下

- ・農作物の販売先がなく所得に繋がらないため遊休農地の増加が深刻
- ・地域のマンパワーが不足しているため新しい取組が必要

対 策

《 1. 生活・交流対策 》 10,330千円

●芸術家を中心とした地域外との交流で交流人口を増やす取組

- 【龍神はーと、女性会、龍神村生活研究グループ、じじばばの会、寄合会、区長会】 田んぼアート
- ・地域内芸術家・料理人と連携し、リピーターを獲得するための各種体験メニューを整備
 - ・宿泊施設と連携し、来訪者(宿泊客等)向けの体験メニュー情報を発信
 - ・地域住民と来訪者の交流の場として、田んぼアート(地域内芸術家がデザイン)を開催
 - ・地域住民運営の産品直売所を設置し交流

●ワーキングステイ参加者と地域住民との交流 【みらい龍神、龍神農園、寄合会】

- (宿泊費、食事代を地元が負担し、地域が受け入れて作業、交流を行う)
- ・ワーキングステイ参加者を大学生や「企業の森」取組法人を中心に公募し交流
 - ・ワーキングステイを活用した耕作放棄地再生(50a)

●地域内での交流

- 【社会福祉協議会、寄合会、田辺市】
- ・地域内小中高生による高齢者安否確認
 - ・集落支援員による集出荷サービス
 - ・耕作放棄地を再生し、地域内学生が体験できる農園として利用、高齢者との交流



田んぼアート



各種体験

対 策

《 2. 収入の確保・生きがい対策 》 10,006千円

(生産) ●ワーキングステイを活用した農作物生産

- 【みらい龍神、龍神農園、JA紀州中央、猟友会龍神分会】
- ・ワーキングステイを活用した耕作放棄地再生(50a)〈再掲〉
 - ・再生地において、サトイモ、ヤーコン、古代米を生産

(加工) ●地域高齢者による加工品生産開発

- 【じじばばの会、おたっしや倶楽部、龍神はーと、龍神村生活研究グループ】
- ・市有施設を改修し、加工場兼サロンとして再生し、住民で運営
 - ・専門家と連携した地域食材活用方法の研究

(販売) ●販売先の確保

- 【ええとこねっと龍神村、みらい龍神、じじばばの会】
- ・地域住民運営の産品直売所を設置〈再掲〉
 - ・販売促進用のホームページを作成、わいわい市場や大手ネットショップに出店
 - ・地元旅館や市内主要観光施設、地域内外イベントで販売



加工場候補地

目指すべき姿

- 地域内人材を活用して元気な集落を再構築！
- ワーキングホリデーを活用した交流、地域活性化！
- 直売所、加工場設置による地域内外交流・所得創出！

【事業期間】H25～H27

【事業主体】みらい龍神、龍神はーと、じじばばの会、ええとこねっと龍神村
おたっしや倶楽部、龍神村女性会、龍神村生活研究グループ
龍神農園、JA紀州中央、猟友会龍神分会、中山路区長会
社会福祉協議会、寄合会、田辺市

全体事業費 20,336千円

県 9,687千円
市 9,043千円
地元 1,606千円